

第50回 大学美術教育学会宮城大会 最終案内

(平成23年度 日本教育大学協会全国美術部門協議会・総会)

大会日程



宮城大会公式ロゴ



制作：石井宏一（秋田大学教育文化学部）

1. 日時：2011年9月23日(金)大会前日諸会議、24日(土)・25日(日)全国大会及び総会ほか
2. 会場：宮城教育大学（2号館2F教室）〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字青葉149
http://www.1.miyakyo-u.ac.jp/
3. 参加費：学会員・一般参加者 5,000円、大学院生 3,000円（現職院生は5,000円）、学生・留学生 1,500円
4. 会場アクセス：JR 仙台駅西口バスプール9番のりばから、市営バス「宮教大」「宮教大・青葉台」「宮教大・成田山」行き乗車、「宮教大前」下車。所要時間約20分。
5. 問い合わせ：宮城教育大学 立原慶一 Tel/Fax 022-214-3449 tatihara@staff.miyakyo-u.ac.jp

<大会日程等>

【大会前日の諸会議】 2011年9月23日(金) 各委員会、役員会（宮城教育大学管理棟会議室 会場は当日掲示します）

11:00-11:30	拡大総務局会議【正副理事長・正副代表・総務局員・事務部員】	会場D
11:30-12:00	第2回次期理事長・代表選考委員会【副理事長・副代表・総務局長・学会総務部長・部門総務部長】	会場D
	昼食各自	
12:30-13:30	全造連大学委員会【部門委員会委員】 ※全国大学造形美術教育連絡協議会（年1回の美術部門全造連大学委員と全美協の懇談会）	会場D
13:30-14:30	国際交流委員会【学会委員会委員】※延長の場合会場Bへ移動 学会誌委員会【学会委員会委員】	会場A 会場B
※審議延長（14:50-16:50）は可	附属学校委員会【部門委員会委員】※延長の場合会場Bへ移動 教科内容学検討委員会【部門委員会委員】	会場A 会場C
14:40-14:50	受付【学会・部門共通】	会場A入口
14:50-16:00	拡大理事会【学会理事役員+部門委員役員（共通審議事項を含む）】	会場A
16:05-16:50	美術部門協議役員会【部門委員役員】	会場A

【宮城大会第1日】 2011年9月24日(土)（宮城教育大学2号館）

09:30-	(部門受付)	2号館 エントランス
	(日本教育大学協会全国美術部門総会・協議会)	2号館 220教室(大教室)
10:00-11:00	(全国大学造形美術教育教員養成協議会総会)	2号館 221教室
	大学美術教育学会受付	2号館 エントランス
11:00-11:25	第50回大学美術教育学会全国大会開会式	2号館 220教室(大教室)
11:30-11:57	口頭発表1	2号館 221, 223, 224, 226, 227
12:00-13:00	昼休み	
13:00-15:57	口頭発表2～7(1コマ27分)	2号館 221, 223, 224, 226, 227
16:10-17:30	シンポジウム「美術教育、ゼロからの出発」	2号館 220教室(大教室)
18:00-20:00	懇親会	大学内「萩朋会館」

【宮城大会第2日目】 2011年9月25日(日)（宮城教育大学2号館）

09:30-	受付	2号館 エントランス
10:00-11:57	口頭発表8～11	2号館 220教室(大教室)
12:00-13:00	昼休み	2号館 221, 223, 224, 226, 227
13:00-13:27	ポスター発表	2号館 228教室
13:30-14:57	口頭発表12～14	2号館 221, 223, 224, 226, 227
15:10-15:40	大学美術教育学会総会	2号館 220教室(大教室)
15:50-	引き継ぎ(大会運営理事 H23 宮城教育大学・H24 大分大学)	

■口頭発表 宮城教育大学2号館 口頭発表20分、質疑応答7分、移動3分

- (注意) 1. 発表の準備は、控え室の2号館2階229教室にて行ってください。
2. 研究発表の進行は次の通りです。一鈴(15分経過)、二鈴(20分経過)、質疑応答(7分)
3. 発表に使用するPCは各自持ち込んでください。MacはVGA変換アダプターが必要です。

	第1会場(実践) (221教室)	第2会場(工作、内容) (223教室)	第3会場(鑑賞、プロジェクト) (224教室)	第4会場(歴史) (226教室)	第5会場(理論、実践) (227教室)
11:30-11:57	「色相環の絵の具」色の空間認知できる学習教材の開発 渡辺邦夫(横浜国立大学)、富金原光秀(学校法人小池学園)	工作・工芸教育における刃物の取り扱いに関する考察(1) 福井一真(愛媛大学)	ぼくらは街を遊牧するーまがり Project vol.2 七日町ノマド計画ー 八木文子(山形大学)	間所春のデザイン観についてー1956年論考からたどるデザイン観の変遷ー 河村禎憲(鳥取県立鳥取聾学校)	美術教育と著作権法(3)～二次的著作物の美学～ 安東恭一郎(香川大学)
12:00-13:00	昼休み ※発表者等控え室は2号館229教室				
13:00-13:27	造形遊びにおける「偶然」の意味と価値に関する検討 石賀直之(鶴見大学短期大学部)	学生会議1「旅するムサビプロジェクト」 高貫結実乃(武蔵野美術大学学部生)	『美術教育コーディネーター』の役割と可能性～アートフェスタの企画運営を通して～ 吉澤 俊(長野県塩尻志学館高等学校)	明治20年頃から昭和戦前期の図画科・手工科の環境整備論ー普通教室における配慮事項についてー 米川千恵子(茨城大学大学院生)	「子どもの芸術作品制作の論理に根ざした子どもの芸術理解の方法」 飯田幸恵(名古屋大学大学院生)
13:30-13:57	体験から捉える言葉とそのイメージとの関係性についてー写真を用いた授業実践を通してー 西園政史(兵庫教育大学大学院連合学校教育学研究科院生)	学生会議2 地域連携による美術教育活動 こともアート・ラボ 古川拓明(東京学芸大学大学院生)	地域につなげる美術教育の実践 The Practice of Art and Design Education for ties to local communities 須田一成(長井市立長井北中学校)	ジョージア・オキーフの花シリーズについての一考察ー濃淡による画面構成を中心にー 松野真知子(大阪教育大学大学院生)	「空間を動かす」感動を模索するー今日の表現教育はモダニズムの芸術から何を学ぶ事ができるのか実践的に体験する 鈴木幹雄(神戸大学)
14:00-14:27	幼児の生活画における想像表現 大橋麻里子(聖心女子大学大学院生)	学生会議3 『群馬大学大学院におけるワークショップ型授業ー知的障がい児に対する造形ワークショップ開発を例としてー』 鈴木紗代(群馬大学大学院生)、木村祐子(群馬大学大学院生)	「震災と芸術・文化～《koi 鯉アート》のぼり》からの一考察～」 渡邊晃一(福島大学)	美術教育のアーカイビングとライティングリサーチⅢ-日本美術教育主要文献解題- 新関伸也(滋賀大学)	絵を描くーモノと自然の間プロジェクトから見えるレゾエミリア幼児教育実践の一考察 永瀬泰一郎(畿央大学)
14:30-14:57	装飾美術技法を用いた美術教育支援 早川礎子(愛国学園大学)	学生会議4ー附属中との連携「スキマ画廊」の活動ー 後藤未希(埼玉大学大学院生)、菖蒲澤 侑(埼玉大学大学院生)	アート・プロジェクトを通じた大学と地域の連携～松戸中央公園におけるアートパークプロジェクトの実践と分析～ 奥村高明(聖徳大学)、大成哲雄(聖徳大学)	幕末から明治前期の油画技法材料についてー学位論文の概要とその後の展開ー 重村幹夫(筑波大学大学院)	美術大学内幼児教育施設を活用したカリキュラム開発 花澤洋太(東北芸術工科大学)、片桐隆嗣
15:00-15:27	寄木表現の一側面ーイメージの喚起に関する一考察ー 赤羽雄太(福島大学)	教科内容学へのアプローチ1ー中間まとめへのプロセスー 渡辺邦夫(横浜国立大学)前芝武史(兵庫教育大学)	協同的な学び論の検討ー協調学習とワークショップの学習論の視点からー 手塚千尋(兵庫教育大学大学院連合院生)	美術教育学の制度的基盤の成立過程ー大阪教育大学・岡山大学の場合 有田洋子(島根大学)	子どもの表現活動の時間環境論的スケッチ 佐藤哲夫(新潟大学)
15:30-15:57	子どもの考える力、表現する力を育て、自己肯定感を培うための教師のかかわりと図画工作科の研修に関する一考察 青木善治(阿賀野市立笹岡小学校)	教科内容学へのアプローチ2ー教科内容学の構築へー 石井壽郎(東京学芸大学)、喜多村徹雄(群馬大学)	震災時におけるネットワークを活かした芸術支援活動の実践 村上タカシ(宮城教育大学)	ヘレン・フランケンサラーの作品制作における思考過程についての一考察ー木版画作品の分析を中心にー 林 知美(大阪教育大学大学院生)	幼児の造形 煤孫康二(岩手大学)
16:10-17:30	●シンポジウム「美術教育、ゼロからの出発」 【パネリスト】 金子一夫(茨城大学教授)、降旗孝(山形大学教授)、新妻健悦(アトリエ・コパン主宰) 司会 立原慶一(宮城教育大学教授)				2号館 220教室
18:00-20:00	親睦会 (できる限り事前にお申しいただけますようご協力お願いします) 参加費：一律4,000円				大学構内 「萩朋会館」

第2日
9月25日(日)

■口頭発表 宮城教育大学2号館 口頭発表20分、質疑応答7分、移動3分

- (注意) 1. 発表の準備は、控え室の2号館2階229教室にて行ってください。
2. 研究発表の進行は次の通りです。一鈴(15分経過)、二鈴(20分経過)、質疑応答(7分)
3. 発表に使用するPCは各自持ち込んでください。MacはVGA変換アダプターが必要です。

〈研究発表等一覧〉

	第1会場(実践) (221教室)	第2会場(工作、内容) (223教室)	第3会場(鑑賞、プロジェクト) (224教室)	第4会場(歴史) (226教室)	第5会場(理論、実践) (227教室)
10:00-10:27	創造的思考力を育む造形活動の視点 竹内とも子(千代田区立九段小学校)	教員養成学大学・学部の絵画教育における省察的実践についての研究1 小澤基弘(埼玉大学)	内モンゴル実践研究プロジェクト Chimude(宮城教育大学大学院生)	美術教育のアーカイビングとライティングリサーチII 天形 健(福島大学)	日常的情景の造形化 山村朱加(福岡教育大学大学院生)
10:30-10:57	造形表現活動に対する保育系学生の意識についてー自己認識と感情曲線による分析ー 畠山智宏(武蔵野美術大学)	伝統的木工家具における接合部の開発と接ぎ手技法を用いた玩具開発の試み 田中隆充(岩手大学)	作品比較法による題材「世界遺産、ミケランジェロの『最後の審判』の鑑賞」(中学2年生の場合) 立原慶一(宮城教育大学)	欧米における日本の画論の受容について 石川千佳子(宮崎大学)	授業を単位した造形表現活動の質的分析 松本健義(上越教育大学大学院)
11:00-11:27	映像表現の教材的価値の研究 梅田大造(福岡教育大学大学院生)	題材「石粉粘土によるお面作り～ねぶた面技法を用いて～」の実践的考察 虎尾 裕(宮城教育大学)	表現活動を取り入れた美術館での鑑賞学習題材の提案ー児童の発達特性と展示作品・空間の特徴を生かしてー 井ノ口和子(武蔵野市立本宿小学校)	秋田県自由画教育の展開に関する研究 長瀬達也(秋田大学)	太陽の描画をめぐる諸問題 高田定明(大阪青山短期大学)
11:30-11:57	幼児の造形表現活動における活動主題を軸とした題材群設定について 大橋 功(岡山大学大学院)	全国工芸教育協議会ともとのづくり教育の重要性 佐藤昌彦(北海道教育大学札幌校)	「よさや美しさ」の理解を目的とする鑑賞の方法及び内容の研究 菖蒲澤 侑(埼玉大学大学院生)	文部省発行図画工作・美術関連の「指導資料」にみる題材概念 山田一美(東京学芸大学)	図画工作科・美術科における「学習活動」の位置づけに関する一考察 神保 悠(兵庫教育大学大学院連合院生)
12:00-13:00	昼休み ※発表者等控え室は2号館229教室				
13:00-13:27	ポスターセッション(第6会場228教室)				
13:30-13:57	小学校高学年の造形的特徴「奥行き」に関する一考察 蝦名敦子(弘前大学)	未就学児の「かたづけ」状況の調査と分析ー収納を主とした幼児用具開発を目的としてー 太田朋宏(東京学芸大学)、ユン・ゴウン(東京学芸大学大学院生)	地域の美術館と学校の連携を支援する表現・鑑賞プログラムの共同開発ー2010年度の取り組みからー 名達英詔(北海道教育大学旭川校)	美術教育のアーカイビングとライティングリサーチI アーカイビング国際調査 山口喜雄(宇都宮大学)	造形材料としての「新聞紙」の可能性と題材化の試み 齋藤 学(山形大学)
14:00-14:27	異校種間連携における学生の学びについて 三澤一実(武蔵野美術大学)	教育大学における陶芸の授業(1) 高石次郎(上越教育大学)	「大分県における鑑賞教育の実践研究」ー県立美術館との共同研究ー 富田礼志(大分大学) 藤井康子(大分大学) 木村典之(大分県教育庁義務教育課)	学校教育の中で現代彫刻を取り入れた立体表現の意義の考察ー境界としての<形>に着目してー 向川千世(大阪教育大学大学院生)	図画工作科における「評価する能力」をつけるシステムの構築に向けて 隅 敦(富山大学)
14:30-14:57	デジタル技術を活用した色彩構成教育の試みについて 町田由徳(岡崎女子短期大学)	子どもは、なぜあのような絵を描くのかー視覚の特性から 小泉 卓(聖徳大学)	病院内学級での造形活動における子どもの実態 高橋智子(静岡大学)	絵画と戦争ー藤田嗣治の戦争画による美術教育鑑賞授業についてー 小林久美子(宝塚市立南ひばりヶ丘中学校)	ドローイングを主題とした教育系大学での授業実践とその効果の検証1 八桁 健(埼玉大学大学院生)、後藤未希(埼玉大学大学院生)、小澤基弘(埼玉大学)
15:10-15:40	大学美術教育学会総会				2号館220教室

＜研究発表等＞ ■ポスターセッション 宮城教育大学 2号館 228教室

■9月25日(日) 13:00～13:27 終日ポスター展示

発表題目	発表者
人物クロッキーの指導法に関する一試案	桶田洋明(鹿児島大学) 松下茉莉香(鹿児島女子短期大学)
学校現場に有効な現代美術メディア教材の検討	渡邊美香(大阪教育大学)
実践的な教育力を高めるための教員研修の在り方ー造形美術教育における教育力とは?ー	降旗 孝(山形大学)
けはいをきくこと「北方圏における森の思想Ⅳ」ーフィールドワーク	坂巻正美(北海道教育大学岩見沢校)
幼稚園・保育園との連携プロジェクトの試み	加藤可奈衛(大阪教育大学) 井野よしこ(コイニア福祉会旭丘まぶね保育園子育て支援センター)
ESDとしての地域連携アートプロジェクトの実践報告	加藤 修(千葉大学)
韓国と日本との小学校用の美術科教科書の比較研究ー韓国の第1次教育課程期のものと日本の昭和26年版学習指導要領期のものを中心にー	千 凡晋(東京学芸大学大学院連合院生)
絵画と戦争ー藤田嗣治の戦争画による美術教育鑑賞授業についてー	小林久美子(宝塚市立南ひばりヶ丘中学校)
専門学校におけるCGクリエイター養成と美術教育	水野博之(日本総合ビジネス専門学校)

■ポスター展示 終日ポスター展示 会場：宮城教育大学 2号館 228教室

地域連携型造形ワークショップによるAIEを通じた美的感性構築に関する検討	渡辺一洋(育英短期大学)
「色相環の絵の具」色を空間認知できる学習教材の開発	渡辺邦夫(横浜国立大学)
続・地球の命 地球環境保護ポスター	渡辺邦夫(横浜国立大学)
福島現代美術ビエンナーレ2010	福島大学 芸術による地域創造研究所 渡邊晃一、熊田喜宣、天形健 ほか

宮城教育大学構内図



バス時刻表

行き：宮城教育大学行き 仙台駅前9番のりば		
	土 曜	休 日
7	20 50	50
8	05 20 35 50	20
9	03 13 23 50	03 13 23 50
10	03 23 33	03 23 33
11	03 23	03 23
12	03 23	03 23
13	03 23	03 23
14	03 23	03 23
15	03 23 30 48 58	03 23 30 48 58
16	03 23 43 53	03 23 53
17	03 33 50	03 33 50
18	03 33	03 33

帰り：仙台駅行き 宮教大正門前のりば		
	土 曜	休 日
9	03 18 38 48 58	05 19 38 48 58
10	27 38 58	28 38 58
11	38 58	38
12	38 58	01 38 58
13	38 58	28 38 59
14	38 58	38 58
15	08 38 58	08 38 58
16	08 18 28 38 58	08 18 28 38 58
17	18 28 48	18 28 48
18	08 18 48	08 19 48
19	03	03
20	03	03
21	03	03

大会当日の緊急連絡先：
090-2560-5998 事務部長 佐藤聡史